



エコアクション21
認証・登録番号 0007685

2011年度 環境活動レポート

(2011年4月～2012年3月)



熊本県菊池市「菊池渓谷」



九州高圧コンクリート工業株式会社

2012年6月21日 発行

目次

	【頁】
1. 会社の概要	2
2. 環境方針	3
3. 環境活動計画	4
(1) 環境活動方針	
(2) 環境目標	
(3) 環境推進体制	
4. 環境活動実績	6
(1) 環境負荷の実績	
(2) 環境目標に対する実績	
(3) 環境活動計画の個別取組事項	
5. 環境関連法規等の遵守状況	10
6. 産業廃棄物処理業の情報	11
7. 建設業の環境負荷実績	12
8. 代表者による全体評価と見直しの結果	12

当社は、2008年よりEMSに基づき環境活動を行ってきましたが、環境問題に対する社会情勢の高まりを受け、2010年11月に環境方針・環境マニュアルを制定し、2011年1月よりエコアクション21を導入しました。

試行期間を経て審査を受けた結果、環境に配慮した会社として環境負荷低減の取組が認められ、2011年11月にエコアクション21の認証を取得する事が出来ました。

今後も、持続可能な社会の形成に寄与すると共に、環境経営に積極的に取り組み、地球にやさしい企業を目指していきます。

1. 会社の概要

- 事業者名 九州高圧コンクリート工業株式会社
- 代表者 代表取締役社長 池松 勢三郎
- 設立年月日 1957年11月5日
- 資本金 2億4千万円
- 所在地
 - ・ 豊前本社・工場 〒828-0021 福岡県豊前市大字八屋 2544-61
 - ・ 福岡本社 〒815-0035 福岡県福岡市南区向野一丁目 13-14
 - ・ 熊本工場 〒869-1205 熊本県菊池市旭志川辺 1349-4
 - ・ 鹿児島営業所 〒892-0834 鹿児島市南林寺町 26-4

	全社	福岡本社 鹿児島営業所	豊前本社 豊前工場	熊本工場
床面積(m ²)	35,383	(50) 1,011	23,203	11,169
敷地面積(m ²)	206,492	1,296	96,620	108,575

注：() は鹿児島営業所分を再掲

- 事業の内容
 - ・ コンクリートポール、コンクリートパイプ及びその他コンクリート製品生産並びに販売
 - ・ 土木建築工事の設計・施工並びに監督
 - ・ 産業廃棄物のリサイクル及び処理業
 - ・ 既設コンクリート構造物調査・診断に関する事業
- 許可の内容
 - ・ 建設業 : 土木工事業、とび・土木工事業、ほ装工事業、塗装工事業
 - ・ 廃棄物処理業 : 中間処理業(破砕)/ガラスくず等、がれき類(自動車等除く)
 - ・ 産廃収集運搬業 : がれき類
- 事業の規模

	単位	2009年度	2010年度	2011年度
売上高	億円	86	99	82
生産量	千t	102	105	87
従業員	人	242	259	250

注：事業年度は、4月1日～翌年3月31日
従業員は、正社員、嘱託、契約社員

経営理念

ありがとうと言われる会社になろう

私たちは未来を見据えた人づくり・ものづくりを行い、お客さま、仲間と家族、そして社会から、『ありがとう』と言ってもらえる社員・会社になりたい。

社是

- ・ 事業を通じて、社会に貢献します
- ・ 事業の安定した成長と健全な発展に努めます
- ・ 従業員の生活の安定と向上を図ります

2. 環境方針

【環境理念】

九州高圧コンクリート工業株式会社はコンクリート製品の生産・販売を中核とする全ての事業活動が地球環境に影響を与えていることを自覚し、地域環境との調和を目指して事業活動に伴う環境負荷の低減に取り組めます。

【基本指針】

1. 環境活動として、次の重要テーマに取り組めます。
 - (1) 温室効果ガス排出量の削減
 - (2) 廃棄物量の削減・リサイクルの推進
 - (3) 水使用量の削減
 - (4) 化学物質使用量の削減
 - (5) グリーン調達の推進
2. 環境関連法規等を遵守します。
3. 環境目標及び環境活動計画を策定し、継続的に改善を行います。
4. 環境方針を全社員に周知し、社員一丸となった環境活動を推進します。
5. 環境活動レポートを作成、公表し、社会とのコミュニケーションを図ります。

2009年11月27日制定

2010年12月 6日改定

3. 環境活動計画

(1)環境活動方針

環境活動に取り組むにあたっての中長期的な基本方針は、5つの柱で構成されています。

5つの柱		環境活動方針
1	地球温暖化問題への取組	<ul style="list-style-type: none"> ・温室効果ガスの排出抑制への着実な取組 ・オゾン層の保護
2	循環型社会形成への取組	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物のゼロエミッション活動の継続的展開 ・グリーン調達への推進
3	地球環境保全の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全の推進
4	社会との協調	<ul style="list-style-type: none"> ・環境コミュニケーションの推進 ・地域における環境活動の推進
5	環境管理の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・EMSの自立的運用 ・環境に関するコンプライアンスの徹底 ・環境データの確実な把握と目標管理の推進 ・環境教育の実施及び環境情報の共有化

(2)環境目標

2009年度を基準年度とし、5カ年の中長期目標を策定しました。

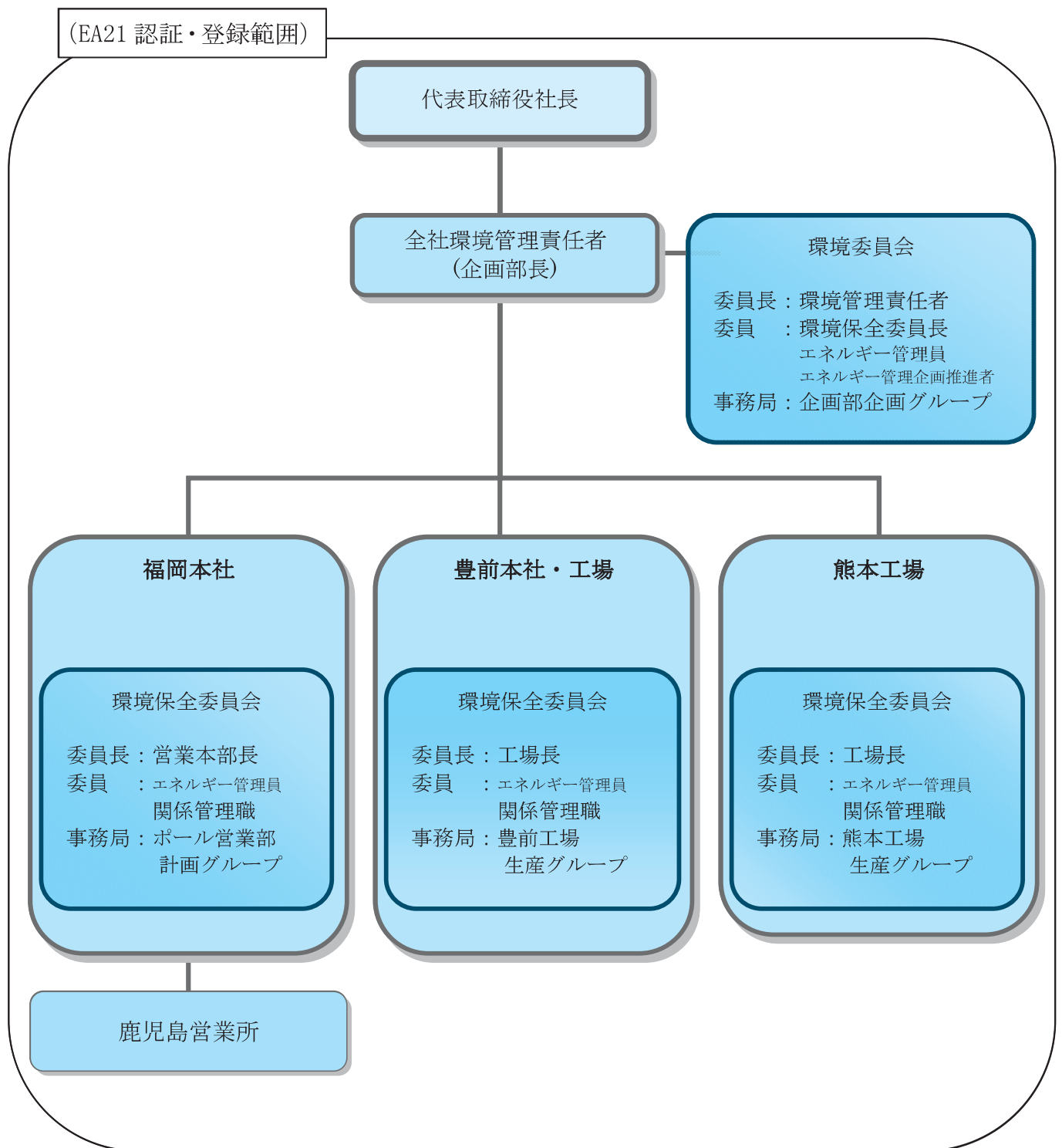
(中期目標の考え方)

- ・二酸化炭素排出量、上水使用量 : 毎年1%削減
- ・産業廃棄物(リサイクル率) : 現状維持

項目	単位	2009年度 (実績)	中長期目標				
			2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
二酸化炭素 排出量	t-CO ₂ /t	0.04786 (100%)	0.04738 (99%)	0.04690 (98%)	0.04644 (97%)	0.04597 (96%)	0.04551 (95%)
産業廃棄物 (リサイクル率)	%	96	96	96	96	96	96
上水使用量	m ³ /t	0.84 (100%)	0.83 (99%)	0.82 (98%)	0.82 (97%)	0.81 (96%)	0.80 (95%)

注：単位のtは、生産重量を示す

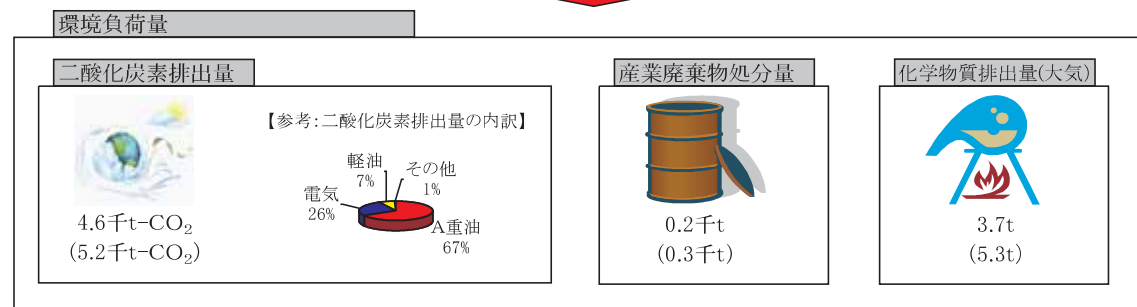
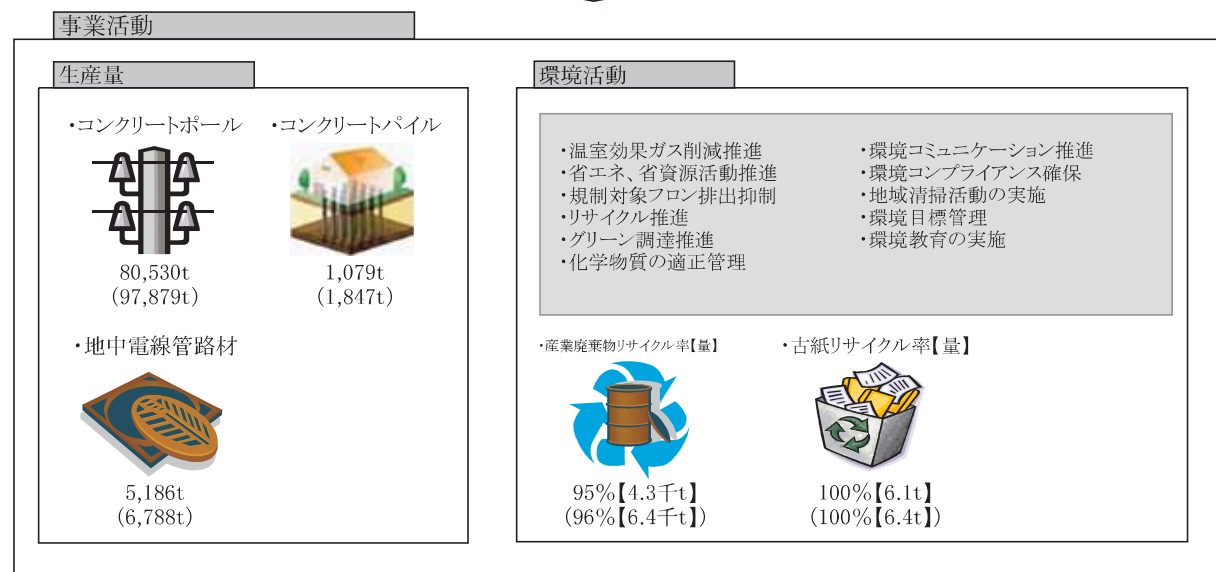
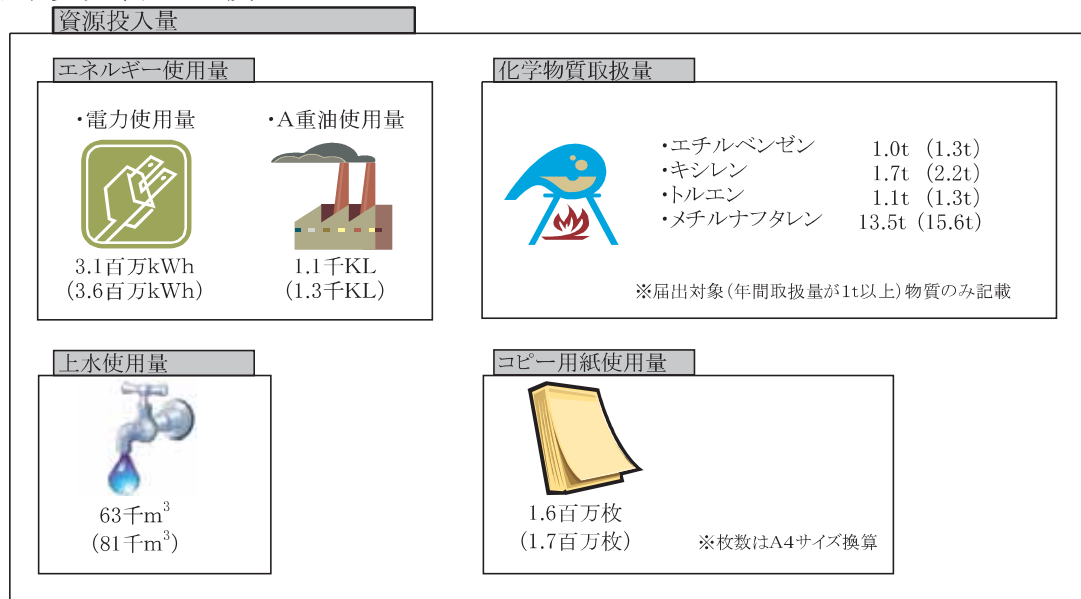
(3) 環境推進体制



注: EA21 の対象範囲は、全ての組織、全ての事業です

4. 環境活動実績

(1) 環境負荷の実績



注: ()内は2010年度実績

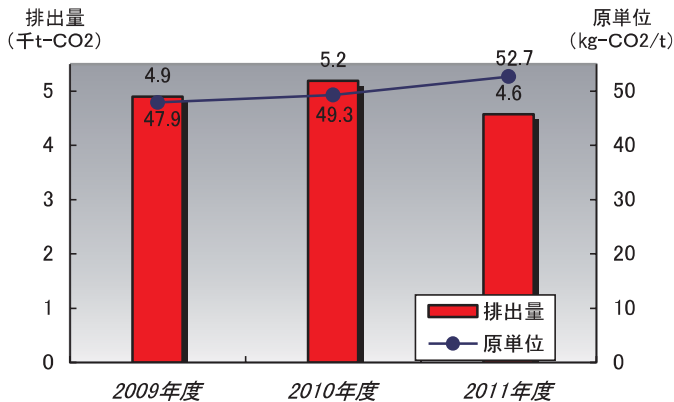
(2)環境目標に対する実績

二酸化炭素排出量、廃棄物排出量及び上水使用量の削減実績は次の通りです。

項目	単位	2010年度 実績	2011年度	
			目標	実績
二酸化炭素排出量	t-CO ₂ /t	0.04927	0.04690	0.05269
産業廃棄物(リサイクル率)	%	96	96	95
上水使用量	m ³ /t	0.77	0.82	0.72

注：電力の二酸化炭素排出係数は、九州電力の平成22年度実排出係数0.385 kg-CO₂/kWhを使用

・二酸化炭素排出量



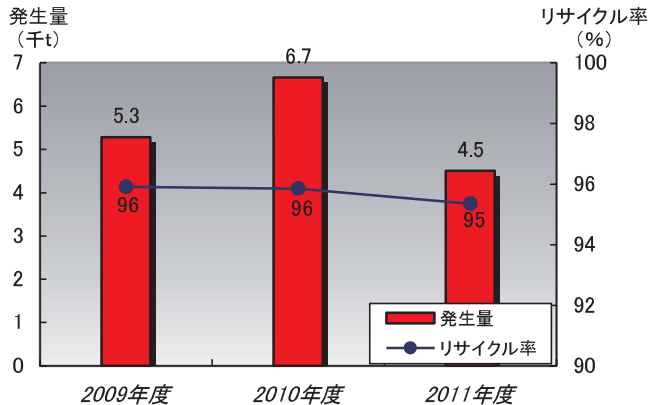
CO₂排出量は、前年度に比べ▲619トン(▲11.9%)削減出来ました。

これは、当社のCO₂発生の大部分を占める電力及びA重油使用量が大幅に減少したためです。

しかし、生産重量が▲18,571トン(▲17.6%)と著しく減少した為、原単位は6.9%増加となりました。

今後も二酸化炭素排出量削減に努めます。

・産業廃棄物リサイクル率

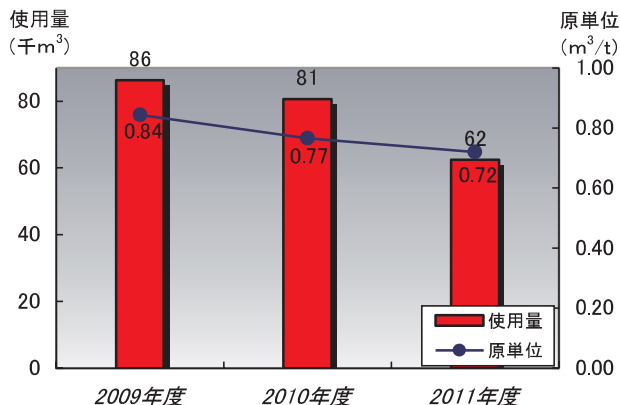


産業廃棄物発生量は前年度に比べ▲2,157トン(▲32.4%)と大きく削減出来ました。

しかし、リサイクル率は95%と若干目標未達となりました。

今後も分別の徹底による産業廃棄物発生量の低減及びリサイクル率の向上に努めます。

・上水使用量



上水使用量は前年度に比べ▲18,195m³(▲22.6%)削減出来ました。

原単位も▲6.5%削減出来、目標を達成しました。

今後も節水の取組を継続します。

(3)環境活動計画の個別取組事項

①地球環境問題への取組

当社では、各事業所単位で事業活動に伴う CO2発生量及び上水使用量の低減などに取組んでいます。

- 温室効果ガスの排出抑制

事業所毎に電力・A重油使用量などの目標を設定し、省エネ活動に取り組んでいます。

電力使用抑制及び生産の減少に伴い、温室効果ガスの排出量が減少しました。

- 運輸面での CO2 削減

車両更新時における低公害車への切替、エコドライブやタイヤ空気圧の適正化など車両の燃費向上に取り組んでいます。

- 上水使用量の削減

上水使用量についても事業所毎に目標を設定し、貴重な水資源の節減に取り組む着実に低減しています。また、毎月の使用実績を子メーター管理する事により、水道管の漏水箇所を発見・改修し無駄を無くすことが出来ました。

- オゾン層の保護

オゾン層を破壊するフロン類については、回収を徹底するようにしています。

②循環型社会形成への取組

廃棄物のリサイクル率について目標を設定し、リサイクル率の維持向上に取り組んでいます。

- 産業廃棄物、古紙リサイクル率の維持向上

当社の工場で発生する産業廃棄物は汚でい(スラッジ)、金属くず及びガラスくず等があり、スラッジがおよそ9割を占めています。

これらの廃棄物について、分別の徹底及びマニフェスト管理を行っています。

- ペーパーレス化の推進等による資源の有効活用

電子媒体の活用、両面コピー及び裏面利用による用紙使用量の節約に取り組んでいます。

- グリーン調達への推進

事務用品の購入の際には環境負荷の少ない物品を優先して調達するグリーン調達に努めています。

③地球環境保全の推進

- 化学物質(PRTR)・PCB等の適切な管理への取組

PRTR 法上の指定物質の取扱量の多くは、A重油や塗料に含有しているメチルナフタレンやエチルベンゼン・キシレン・トルエンであり、対象物質の適切な管理及び県への届出をしています。

④社会との協調

- 環境コミュニケーションの推進

EA21 環境活動レポートをホームページに掲載し、環境活動実績を積極的に公開しています。

⑤環境管理の推進

- EMSの自立的運用

EA21 要求事項の確実な実施及び環境関連法規等の遵守に努めると共に、環境負荷の継続的な低減を目指して、全社員へ理解促進及び環境意識高揚を図っています。

- 環境教育の実施

全従業員に対し環境教育を実施しています。

(参考) 環境活動計画の取組結果

取組結果【○良好 △不足】

項 目		2011 年度目標	2011 年度実績	取組結果	2012 年度目標
地球環境問題への取組	オフィス電力使用量の削減	9.25(kWh/m ²)以下	8.59(kWh/m ²)	○	9.25(kWh/m ²)以下
		評価 ・空調・照明の適切な管理等節電の取組により目標達成			
	工場等電力使用量の削減	31.8(kWh/t)以下	34.1(kWh/t)	△	31.5(kWh/t)以下
		評価 ・設備投資や節電の取組を実施したが、生産重量の大幅な減少により未達成			
	車両燃費の向上	13.5(km/ℓ)以上	16.0(km/ℓ)	○	13.5(km/ℓ)以上
		評価 ・エコドライブの取組により目標達成			
	低公害車導入率の維持	71(%)以上	67(%)	△	71(%)以上
		評価 ・工事一般車両増車により未達成			
	オフィス上水使用量の削減	0.58(m ³ /人)以下	0.44(m ³ /人)	○	0.58(m ³ /人)以下
		評価 ・節水の取組により目標達成			
工場等上水使用量の削減	0.82(m ³ /t)以下	0.72(m ³ /t)	○	0.81(m ³ /t)以下	
	評価 ・子メーター管理や節水の取組により目標達成				
規制対象フロン回収徹底	100(%)	実績無し	—	100(%)	
	評価 ・機器点検の実績無し。点検時には確実に回収				
A重油使用量の削減	12.1(ℓ/t)以下	12.9(ℓ/t)	△	12.0(ℓ/t)以下	
	評価 ・AC養生効率化の取組等実施したが、生産重量の大幅な減少により未達成				
循環型社会形成への取組	産業廃棄物のリサイクル率維持	96(%)以上	95(%)	△	96(%)以上
		評価 ・分別回収は実施しているが、スラッジ発生量の減少により未達成			
	古紙リサイクル率の維持	100(%)	100(%)	○	100(%)
		評価 ・分別収集の徹底により達成			
用紙使用量の節約	985(枚/人)以下	909(枚/人)	○	975(枚/人)以下	
	評価 ・裏面利用の徹底等により達成				
事務用品のグリーン調達率向	80(%)以上	93(%)	○	80(%)以上	
	評価 ・事務用品のグリーン調達推進により達成				

注：単位の t は、生産重量を示す

5. 環境関連法規の遵守状況

遵守状況【○遵守 △違反】

主な法規制の名称		適用条項	遵守状況
環境一般	工場立地法	・特定工場・生産施設 ・緑地	○
地球環境	地球温暖化対策推進法	・事業活動に伴う排出抑制 ・排出量の報告	○
	省エネ法	・特定事業者の指定 ・エネルギー使用状況の届出 ・エネルギー管理統括者の選任 ・中長期計画の作成	○
	フロン回収破壊法	・事業者の責務 ・大気中への放出禁止	○
	オフロード法	・使用の制限	○
廃棄物・リサイクル	廃棄物処理法	・事業者の責務 ・保管基準の遵守 ・許可業者への委託 ・委託基準の遵守 ・マニフェスト管理	○
	P C B 特措法	・保管・処分 ・県知事への届出	○
	建設リサイクル法	・再資源化等の遵守 ・実施状況の記録・保存・報告	○
	自動車リサイクル法	・再資源化預託金等の預託義務	○
	家電リサイクル法	・収集・再商品化に対する費用負担	○
大気・騒音・振動	大気汚染防止法	・ばい煙発生施設等の届出 ・公害防止管理者等の届出 ・排出規制基準の遵守 ・測定・記録	○
	騒音規制法	・特定施設の届出 ・規制基準の遵守	○
	振動規制法	・特定施設の届出 ・規制基準の遵守	○
水質・土壌	水質汚染防止法	・特定施設等の届出 ・排水規制基準の遵守 ・総量規制	○
	浄化槽法	・浄化槽設備の届出 ・未処理水の放流禁止 ・水質基準 ・水質検査 ・保守点検	○
化学物質	P R T R 法	・化学物質管理指針に基づく管理 ・排出量・移動量の届出	○
	毒物・劇物取締法	・毒物又は劇物の取扱及び表示	○

注：違反、訴訟など

環境関連法規の遵守状況の確認及び評価結果、当社事業に適用される環境関連法規への違反はありません。

なお、関係機関からの指定、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

引き続き法令遵守に努めます。

6. 産業廃棄物処理業の情報

産業廃棄物処理業者の優良性評価制度における情報公開で求められている情報は、次の通りです。

(1) 産業廃棄物処分類

項目	豊前工場	熊本工場
許可番号	04020008997	04325008997
許可年月日	2012年2月21日	2008年9月26日
有効年月日	2017年2月20日	2013年9月25日
事業の範囲	中間処理業(破砕)/ガラスくず等、がれき類(自動車等除く)	
事業施設の種類の	破砕施設	
処理能力	97.6t/日(8時間)	25.6t/日(8時間)
処理方式	油圧スクリーンクラッシャー方式	
処理工程図		

産業廃棄物（廃品コンクリートポール）の処理実績

2011年(2011年4月～2012年3月)

処理方法等	処分方法等	廃棄物種類	量(t)
中間処理	受入	がれき類	19,593
	破砕	がれき類	19,593
中間処理後の産業 廃棄物 (再資源化等)	路盤材等として再資源化	コンクリートくず	18,083
	形鋼等として再資源化	金属くず	1,510
	合計		19,593

注1：廃棄物種類は廃掃法の分類に従う

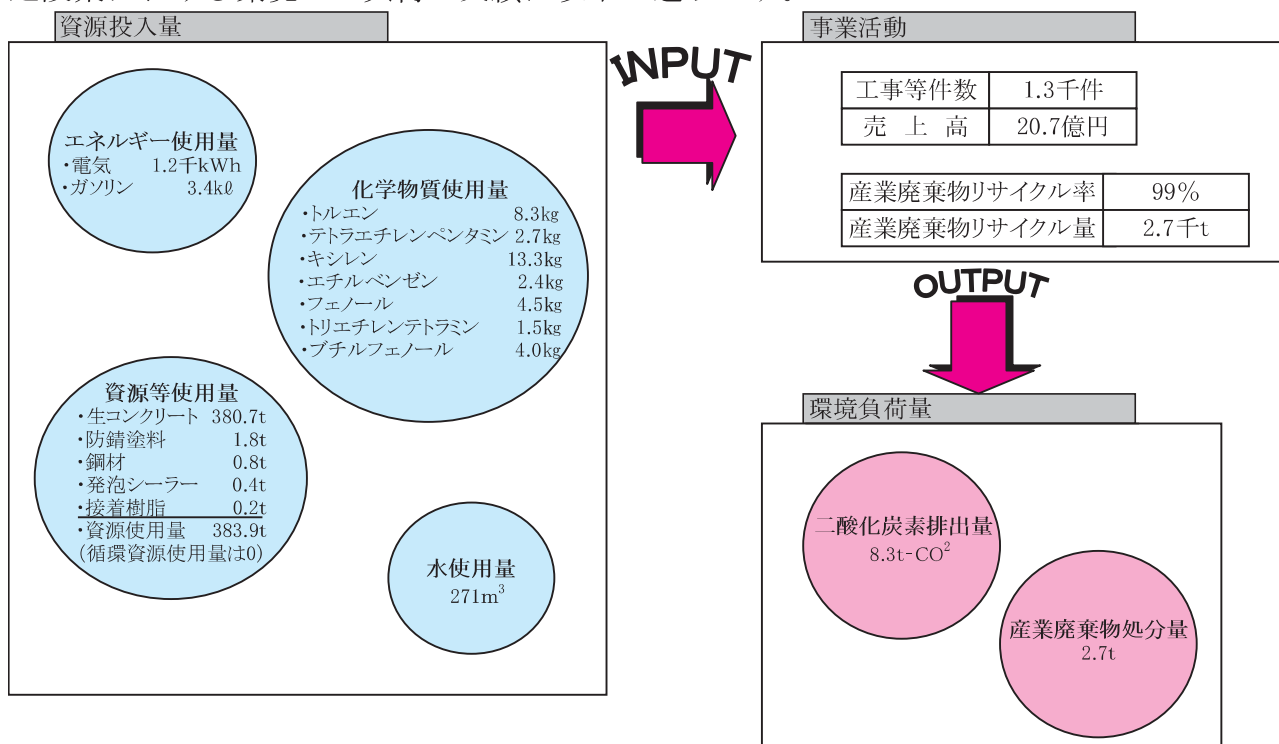
注2：最終処分はありません

(2)産廃収集運搬業（豊前工場、熊本工場）：実績無し

(3)最終処分場（熊本工場）：実績無し

7. 建設業の環境負荷実績

建設業における環境への負荷の実績は以下の通りです。



8. 代表者による全体評価と見直しの結果

2011年度の環境目標については、コンクリート製品の生産量が減少した事から、二酸化炭素排出量（原単位）と産業廃棄物（リサイクル率）は未達成となりましたが、エコアクション 21 の認証取得に伴いガイドラインに沿った環境教育の実施や建設業における環境負荷の把握等、環境活動の幅を広げる事が出来ました。

2012年度は、夏季の10%節電の取組、循環型社会形成のため九州全域を対象とした廃品コンクリートポールの収集運搬・リサイクル事業を立ち上げ、九州電力グループの一員として環境経営に寄与します。

また、内部監査の実施や建設業においても目標を設定した環境活動の展開、産業廃棄物処理業のガイドラインに沿った活動等、環境活動の幅を更に広げていきます。

今後も、一人一人が身近な事から環境問題に取り組み、今まで以上に環境に優しい企業を目指します。

MEMO

A large, vertically oriented rounded rectangle with a thin black border and rounded corners. Inside the rectangle, there are 20 horizontal dashed lines spaced evenly down the page, providing a guide for handwriting. The lines are light gray and extend across most of the width of the box.

本レポートについてのご意見・お問い合わせ先

九州高圧コンクリート工業株式会社

環境管理責任者 取締役常務執行役員 企画部長 杉元 重晴

環境管理担当者 企画部企画グループ 堀田 昌宏

TEL (0979) 82-3266 FAX (0979) 82-8481 <http://www.kyuatsu.co.jp/>